

2008年11月10日

国際高等融合領域研究所特別研究員（GCOE 連携）公募のお知らせ

東北大学国際高等融合領域研究所 (<http://www.iiare.tohoku.ac.jp/laboratory/index.html>) と文学研究科グローバルCOEプログラム「社会階層と不平等教育研究拠点の世界的展開」では、別紙の要領で特別研究員（GCOE 連携）を国内外に募集します。本グローバルCOEプログラムでは、格差をめぐる諸問題の解明を目的とし、「社会階層と不平等の構造と変動（略称：構造と変動）」、「マイノリティ」、「東アジア」、「国際移動」、「公正」という5つの研究部門の有機的連携によって、研究教育を推進していきます。各研究部門の主な活動は次のようになります。

- ・ **構造と変動研究部門** 社会的閉鎖を通じた格差拡大メカニズムの分析をするとともに、社会調査データ等を用いた格差の趨勢分析を行います。またスタンフォード大学と共同して、絶対的貧困の国際比較を行います。
- ・ **マイノリティ研究部門** 社会的閉鎖理論を踏まえた、生得的属性（エスニシティやジェンダーなど）に関わる格差の分析をするとともに、諸属性間の相互作用の研究を進めます。また平等感とキャリア形成行動の関係分析を行います。
- ・ **東アジア研究部門** 格差を生み出す東アジア諸社会に固有の深層構造を探求するとともに、深層構造に対する各社会の評価のあり方を検討します。
- ・ **国際移動研究部門** 移民労働者とその家族をめぐる格差問題の解明に取り組みます。特に、日本におけるニューカマーを対象とした研究に重点を置きます。
- ・ **公正研究部門** 格差がもたらす個人的・社会的帰結の分析をするとともに、格差感の規定要因と社会心理学的メカニズムを解明します。

特別研究員（GCOE 連携）は、(1)これらの研究部門における研究活動と関連する自分の研究テーマを追究し、世界に通用する研究成果をあげることと(2)国際高等融合領域研究所で積極的に研究することが期待されています。特別研究員（GCOE 連携）として将来世界的に活躍するための基礎を築きたい人はぜひ応募してください。

グローバル COE プログラム
社会階層と不平等教育研究拠点
拠点リーダー 佐藤嘉倫

国際高等融合領域研究所特別研究員（GCOE 連携）募集要項

- ・募集人数 1名
- ・資格
 - (1) 博士号を有するもの
 - (2) 本プログラムと関連のある研究を行っているもの、あるいは関連のある研究を行う予定のもの
 - (3) 日本学術振興会特別研究員－PD ではないもの
 - (4) 博士号取得後5年以内の者が望ましい
- ・雇用期間 2009年1月1日（予定）から2012年3月31日まで
- ・研究体制 社会階層と不平等教育研究拠点において、事業推進担当者2名を正副アドバイザーとし、アドバイザーと研究の内容や方向性について協議しながら、自らの研究プロジェクトを進める。また国際高等融合領域研究所における研究活動にも従事する。エフォート率は拠点において90%、研究所において10%とする。
- ・待遇
 - (1) 身分は国際高等融合領域研究所助教とし、年俸上限約520万円（手取り）を支給する。なお採用時年齢により年俸に傾斜設定がなされる。
 - (2) 優れた研究計画に対しては、自らの研究を推進するための特別研究奨励金を支給する。
 - (3) 国際会議などでの報告を学術面・経済面で支援する。
- ・選考方法 社会階層と不平等教育研究拠点選考委員会が書類審査の上、候補者を国際高等融合領域研究所に推薦する。研究所選考委員会が書類審査・面接により最終選考をする。
- ・提出書類
 - (1) 履歴書 1通
 - (2) 研究業績リスト 1通
 - (3) 研究計画書 1通
 - (4) 代表的業績の別刷 3篇以内
 - (5) 推薦状 1通

（履歴書、研究業績リスト、研究計画書は拠点事務局 coesec@sal.tohoku.ac.jp までご請求ください。ワードファイルをお送りします。）
- ・提出先 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学大学院文学研究科
社会階層と不平等教育研究拠点 佐藤嘉倫 宛
（封筒に「国際高等融合領域研究所特別研究員（GCOE 連携）応募書類在中」と朱書のこと）
- ・締め切り 2008年12月1日（必着）
- ・問い合わせ先 佐藤嘉倫（電子メール：ysato@sal.tohoku.ac.jp）
電子メールないしは郵便でお問い合わせください。